



# 検査・処置・手術安全部会

2024 年度活動報告

## 2024 年度検討テーマ

PSP 会員病院のニーズや社会情勢などを踏まえ、毎年「検査」「処置」「手術」に関連したテーマを選び、有効な対策について検討している。2024 年度は「身体拘束最小化」をテーマにセミナーを開催した。また「中小規模病院の検査・処置・手術安全」をテーマに案アンケートを実施した。

## 部会員一覧

(敬称略・五十音順)

◎=部会長、○=副部会長

亀森 康子	自治医科大学附属 さいたま医療センター
菊地 龍明○	公立大学法人 横浜国立大学附属病院
菊池 雄一	岩手県立中央病院
西條 文人	東北大学病院
肥田 圭介	岩手医科大学附属病院
田口 由美子	熊本大学病院
箱田 美知恵	北里大学病院
長谷川 隆一◎	獨協医科大学埼玉医療 センター
安田 あゆ子	国立病院機構 名古屋 医療センター

## 活動報告／成果物等

### セミナーの実施

- ・第1回セミナー  
10月9日開催（シンポジウム形式、オンライン）  
「その身体拘束、誰を守るためのもの？」  
>[開催報告](#) / [アーカイブ配信・Q&A集](#)
- ・第2回セミナー 開催中止
- ・第3回セミナー  
1月23日開催（シンポジウム形式、オンライン）  
「他施設の取り組みから学ぶ身体拘束最小化」  
>[開催報告](#) / [アーカイブ配信・Q&A集](#)

### 公開した成果物

- ・[2024 年度 検査・処置・手術の安全に関するアンケート](#)

## 総括

2024 年度のメインテーマは「身体拘束最小化への取り組み」とし、アンケート調査と2回の Web セミナーを開催した。第1弾セミナーは「その身体拘束、誰を守るためのもの？」として、演者の名古屋市立大学の桐山先生と国立がんセンター東病院の小川先生に身体拘束の諸問題と多職種による最小化への取り組みについてご講演いただいた。第2弾では「他施設の取り組みから学ぶ身体拘束最小化」として北里大学病院の熊坂先生、高岡市民病院の西田先生、信愛病院の金子先生よりそれぞれの取り組みについて具体的なお話を頂いた。部会からのメッセージとしては会員病院の身体拘束への意識を高めて、最小化への取り組みを促進するというものであったが、事後のアンケートでは施設基準に関わるカルテ記載や病棟回診の方法といった診療報酬に絡むものが大半であり、身体拘束への意識を変えるのには時間が必要と思われた。

今年度は身体拘束の問題以外に「小規模施設の検査・処置・手術に関わる諸問題」に関するグループワークも予定していたが、参加希望者が規定数に達せず開催を断念した。チャンスがあれば再度この問題について検討してみたい。

なお身体拘束最小化に関するセミナーは PSP の HP でアーカイブ配信されており、院内教育などに是非ご活用いただきたい。

(部会長・長谷川 隆一)